

地図とデータで見る
筑波大学

リーフレット

令和3年度



筑波大学

University of Tsukuba

1 沿革・校章・ブランドスローガン

■ 沿革

筑波大学は、東京教育大学の移転を契機に、そのよき伝統と特色を生かしながらも、大学に対する内外からのいろいろな要請にこたえるため、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973年（昭和48年）10月に「開かれた大学」「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」を特色とした総合大学として発足しました。本学は大学改革の先導的役割を果たしつつ、教育研究の高度化、大学の個性化、大学運営の活性化など、活力に富み、国際競争力のある大学づくりを推進しています。

■ 校章



筑波大学の校章「五三の桐葉型」は、1903（明治36）年に改定された東京高等師範学校生徒徽章に始まり、1949（昭和24）年制作の東京教育大学学生バッジにも受け継がれました。1974（昭和49）年本学評議会において「紋章については東京教育大学の伝統を引き継ぎ」桐の葉とすることが了承されました。「五三の桐」と呼ばれる図形には、我が国の伝統的な紋章一般がそうであるように多くのヴァリエーションがありますが、本学の校章は花の部分のみ「蔭」（アウトライン）で表される独特のものです。

校章の色は、スクールカラーのつくば紫です。

■ ブランドスローガン

欧文

和文

IMAGINE THE FUTURE. 開かれた未来へ。

開学からの理念である開かれた大学として、教育、研究をはじめあらゆる面で想像して未来を開く視点から、筑波らしさを IMAGINE THE FUTURE. と表現しました。

2 教育組織

9学群・23学類・1学位プログラム・総合学域群

学群	学類
人文・文化学群	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類
社会・国際学群	社会学類、国際総合学類
人間学群	教育学類、心理学類、障害科学類
生命環境学群	生物学類、生物資源学類、地球学類
理工学群	数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類、総合理工学位プログラム
情報学群	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
医学群	医学類、看護学類、医療科学類
体育専門学群	
芸術専門学群	
総合学域群 ^{注1)}	

注1) 総合選抜で入学した学生は1年次は総合学域群に在籍し、1年間の学びの後、所属する学類・専門学群が決まります。

大学院3学術院・6研究群+6専攻・56学位プログラム

人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群 (3学位プログラム)

人文学、国際公共政策、国際日本研究

ビジネス科学研究群 (2学位プログラム)

法学、経営学

法曹専攻

国際経営プロフェッショナル専攻

理工情報生命学術院

数理工物質科学研究群 (5学位プログラム)

数学、物理学、化学、応用理工学、国際マテリアルズイノベーション

システム情報工学研究群 (8学位プログラム)

社会工学、サービス工学、リスク・レジリエンス工学、情報理工、知能機能システム、構造エネルギー工学、エンパワーメント情報学、ライフイノベーション (生物情報)

生命地球科学研究群 (12学位プログラム)

生物学、生物資源科学、農学、生命農学、生命産業科学、地球科学、環境科学、環境学、山岳科学、ライフイノベーション (食科革新、環境制御、生体分子材料)

国際連携持続環境科学専攻

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群 (26学位プログラム)

教育学、心理学、障害科学、カウンセリング、カウンセリング科学、リハビリテーション科学、ニューロサイエンス、医学、看護科学、フロンティア医科学、公衆衛生学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルス、スポーツ医学、体育学、スポーツ・オリンピック学、体育科学、コーチング学、スポーツウエルネス学、芸術学、デザイン学、世界遺産学、情報学、ヒューマンバイオロジー、ライフイノベーション (病態機構、創業開発)

スポーツ国際開発学共同専攻

大学体育スポーツ高度化共同専攻

国際連携食料健康科学専攻

グローバル教育院

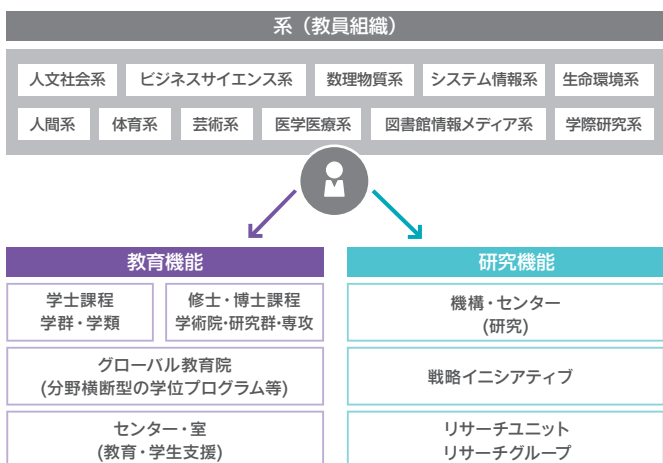
ヒューマニクス学位プログラム (博士)

地球規模課題学位プログラム (学士)

3 教員組織と教職員数

■ 筑波大学独自の教員組織「系」

教員は「系」に所属し、基盤的な研究を行いつつ、学群・学類、学術院・研究群・専攻、センター等それぞれの教育研究組織の目的に即した教育研究を担います。教員の所属組織を個々の教育研究組織から独立させることにより、各教育研究組織に異なる分野の教員が参画することが可能になり、学際融合・領域横断的な教育研究、新たな教育研究プログラムの創出を柔軟に行うことができます。



■ 教職員数

		総数	内女性数	内外国人数	内外国人数の 女性数
役員		11	2	1	1
教員	教授	581	63	15	4
	准教授	559	106	44	16
	講師	213	52	1	0
	助教	497	134	75	33
	助手	1	0	0	0
	附属学校教員	544	255	3	2
	合計	2,406	612	139	56
職員	事務系	1,147	723	11	6
	技術技能系・医療系	1,761	1,219	10	6
	合計	2,908	1,942	21	12
総合計		5,314	2,554	160	68

※令和3年5月1日現在（学校基本調査より）

4 学生数 (学群・学類)

※令和3年5月1日現在

総数

■ 男子

■ 女子

人文・文化学群

人文学類	502	290	212
比較文化学類	339	115	224
日本語・日本文化学類	152	40	112

社会・国際学群

社会学類	358	215	143
国際総合学類	358	148	210

人間学群

教育学類	155	82	73
心理学類	220	87	133
障害科学類	155	47	108

生命環境学群

生物学類	340	182	158
生物資源学類	536	249	287
地球学類	207	146	61

理工学群

数学群	159	144	15
物理学類	246	209	37
化学類	198	133	65
応用理工学類	501	443	58
工学システム学類	543	495	48
社会工学類	507	375	132
総合理工学位プログラム	10	8	2

情報学群

情報科学類	370	345	25
情報メディア創成学類	241	204	37
知識情報・図書館学類	406	206	200

医学群

医学類	838	542	296
看護学類	315	15	300
医療科学類	145	40	105

体育専門学群

1,025	730	295
-------	-----	-----

芸術専門学群

445	98	347
-----	----	-----

グローバル教育院

24	9	15
----	---	----

総合学域群

420	308	112
-----	-----	-----

合計

9,715	5,905	3,810
-------	-------	-------

4 学生数(大学院)

学術院(令和3年度開設)

※令和3年5月1日現在

総数 男子 女子

人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群	295	117	178
ビジネス科学研究群	154	119	35
法曹専攻	78	60	18
国際経営プロフェッショナル専攻	63	43	20

理工情報生命学術院

数理物質科学研究群	681	576	105
システム情報工学研究群	1,223	1,011	212
生命地球科学研究群	829	476	353
国際連携持続環境科学専攻	4	2	2

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群	1,587	869	718
スポーツ国際開発学共同専攻	10	6	4
大学体育スポーツ高度化共同専攻	7	4	3
国際連携食料健康科学専攻	13	6	7
グローバル教育院	37	21	16

小計	1,617	885	732
----	-------	-----	-----

研究科(令和3年度学生募集停止)

※令和3年5月1日現在

総数 男子 女子

教育研究科

12 7 | 5

人文社会科学研究科

232 114 | 118

ビジネス科学研究科

189 132 | 57

数理物質科学研究科

135 113 | 22

システム情報工学研究科

195 158 | 37

生命環境科学研究科

236 143 | 93

人間総合科学研究科

718 395 | 323

図書館情報メディア研究科

70 41 | 29

グローバル教育院

59 39 | 20

小計	1,883	1,163	720
----	-------	-------	-----

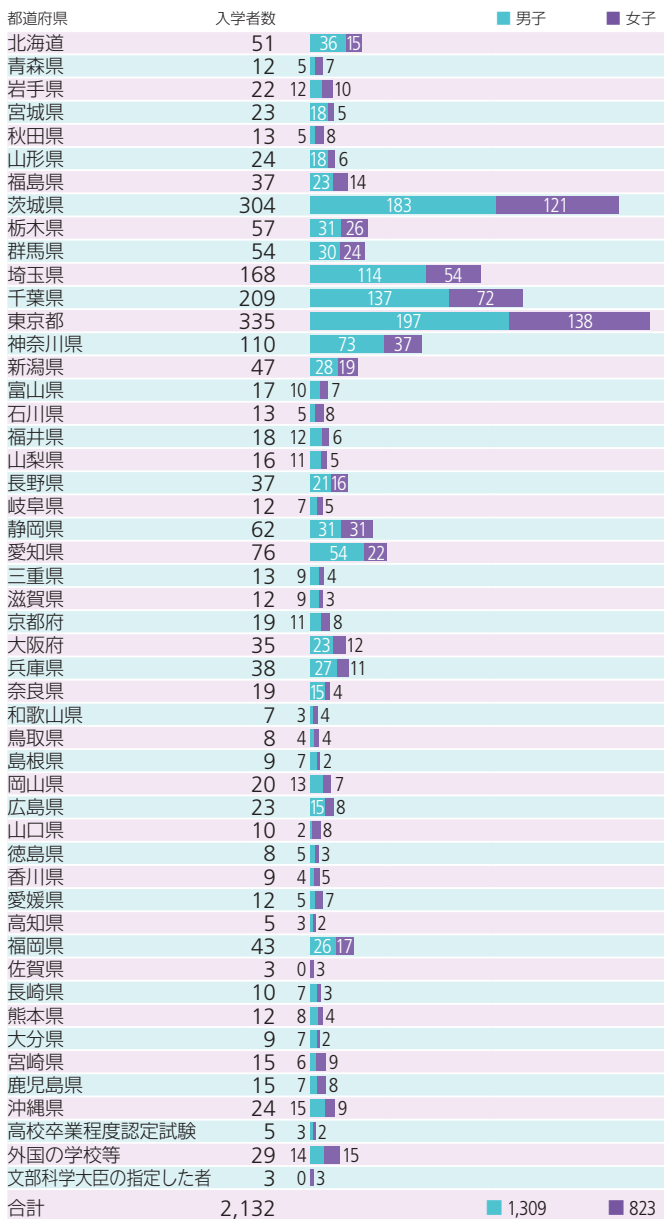
合計	6,827	4,452	2,375
----	-------	-------	-------

5 都道府県別入学者数（学群）

令和3年度データ

※令和3年5月1日現在

入学者の都道府県別内訳は、関東圏を中心に、全国から集まっています。



6 卒業生の進路

令和2年度 学群・学類の卒業生の進路(実数)

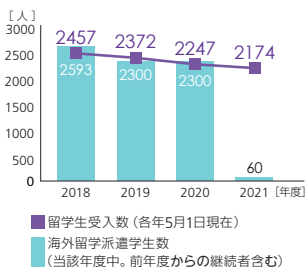
※令和3年5月1日現在, () は女子内数

学群・学類	卒業者	就職者	就職者の内訳 (%)				進学者	その他
			企業	教員	公務員等	独法 研修医		
人文・文化学群								
人文学類	120(59)	80(47)	76%		4%	20%	22(6)	18(6)
比較文化学類	81(51)	63(43)	83%		2%	15%	11(5)	7(3)
日本語・日本文化学類	47(34)	34(25)	76%		12%	12%	10(7)	3(2)
社会・国際学群								
社会学類	99(39)	72(25)	82%			18%	13(8)	14(6)
国際総合学類	84(43)	65(35)	85%			15%	7(3)	12(5)
人間学群								
教育学類	36(10)	22(7)	55%		36%	9%	11(3)	3(0)
心理学類	54(37)	31(23)	71%			29%	12(7)	11(7)
障害科学類	35(28)	21(17)	76%		10%	14%	11(10)	3(1)
生命環境学群								
生物学類	92(43)	7(6)	86%			14%	77(32)	8(5)
生物資源学類	157(75)	30(17)	77%		3%	20%	108(48)	19(10)
地球学類	56(21)	10(4)	90%			10%	40(14)	6(3)
理工学群								
数学類	41(4)	16(1)	44%		38%	18%	20(1)	5(2)
物理学類	60(7)	10(3)	80%		10%	10%	46(3)	4(1)
化学類	47(11)	2(0)	50%		50%		41(10)	4(1)
応用理工学類	136(13)	21(3)	90%		5%	5%	109(10)	6(0)
工学システム学類	134(14)	16(3)	100%				115(11)	3(0)
社会工学類	123(20)	46(10)	78%			22%	69(9)	8(1)
情報学群								
情報科学類	95(10)	18(3)	100%				70(6)	7(1)
情報メディア創成学類	57(11)	17(4)	88%			12%	31(7)	9(0)
知識情報・図書館学類	113(56)	71(38)	75%			25%	27(10)	15(8)
医学群								
医学類	135(50)	135(50)	100%				0(0)	0(0)
看護学類	80(75)	70(67)	87%		4%	9%	5(3)	5(5)
医療科学類	38(24)	16(14)	94%			6%	21(9)	1(1)
体育専門学群								
体育専門学類	254(64)	172(41)	80%		15%	5%	54(18)	28(5)
芸術専門学群								
芸術専門学類	104(87)	52(45)	81%		10%	9%	28(22)	24(20)
合計	2,278(886)	1,097(531)	70%		6%	12%	958(262)	223(93)

7 国際交流

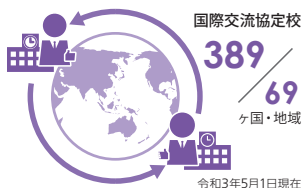
留学生の受入

本学は、100を超える国・地域から留学生を受け入れています。英語のみで学位が取得できる多くのプログラムを提供する一方、レベルに合わせたきめ細やかな日本語教育が受けられることも特徴です。



学生の海外留学

交流協定校は389校にもおよび、国別では中国が最も多く、米国、ドイツの順となっています。派遣学生の比率は学群生が約4割、大学院生が約6割です。



筑波大学海外オフィス所在地

12カ国・地域、12ヶ所に点在する海外オフィス



Campus-in-Campus(CiC) 協定機関

Campus in Campus (CiC) 構想とは、CiC 協定を締結した海外の大学 (CiC パートナー大学) と本学との間で、学生、教員、研究者、職員が大学の壁を超えて活動するために、研究教育資源を相互に利活用することを目指すものです。

令和3年5月現在、Campus in Campus パートナー大学は下記のとおりです。

ボルドー大学(フランス)/国立台湾大学(台湾)/サンパウロ大学(ブラジル)/マレーシア工科大学(マレーシア)/カリフォルニア大学アールハイム校(米国)/ユトレヒト大学(オランダ)/グルノーブル・アルプ大学(フランス)/オハイオ州立大学(米国)/ボーフム大学(ドイツ)/アルファラビ・カザフ国立大学(カザフスタン)

8 研究成果

■ ノーベル賞受賞者

物理学賞（1965年）**朝永 振一郎**（東京教育大学元学長、東京教育大学名誉教授）

「量子電気力学、とくに超多時間理論およびくりこみ理論の展開」

物理学賞（1973年）**江崎 玲於奈**（本学元学長、本学名誉教授）

「半導体内及び超伝導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」

化学賞（2000年）**白川 英樹**（本学名誉教授）

「導電性ポリマーの発見と開発」

■ 学術論文の高被引用論文数

大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして学術論文の被引用数があります。クラリベイト・ジャパン「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング2020年版」によれば、2009年1月1日～2019年12月31日の11年間の高被引用論文数は、国内10位にランキングされています。高被引用論文とは、被引用数が世界の上位1%に入る卓越した論文です。

国内研究機関の総合分野トップ20

順位	機関名	高被引用論文数	割合
1	東京大学	1,535	1.7%
2	京都大学	978	1.5%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	694	2.5%
4	大阪大学	590	1.2%
5	東北大学	531	1.1%
6	名古屋大学	479	1.3%
7	九州大学	379	1.0%
8	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	378	2.5%
9	東京工業大学	353	1.3%
10	筑波大学	312	1.3%
11	北海道大学	304	0.9%
12	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	279	1.1%
13	岡山大学	256	1.6%
14	神戸大学	244	1.4%
15	国立研究開発法人 国立がん研究センター	238	3.1%
16	慶應義塾大学	217	1.1%
17	早稲田大学	213	1.6%
18	広島大学	213	1.1%
19	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	190	1.5%
20	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	183	2.8%

9 外部資金

令和2年度大学別科研費採択件数

順位	機関名	採択件数 (新規+継続)	新規件数	順位	機関名	採択件数 (新規+継続)	新規件数
1	東京大学	4,202	1,511	6	名古屋大学	1,819	645
2	京都大学	3,022	1,083	7	北海道大学	1,719	568
3	大阪大学	2,665	969	8	筑波大学	1,357	456
4	東北大学	2,525	859	9	広島大学	1,220	437
5	九州大学	1,943	693	10	慶応義塾大学	1,187	427

※文部科学省「令和2年度科学研究費助成事業の配分について」（令和3年3月31日改訂版）より

※主要種目のみの公表

※研究代表者が所属する研究機関により整理

令和2年度科研費 主な採択区分

思想、芸術（およびその関連分野；以下同じ）/ 文学、言語学 / 地理学、文化人類学、民俗学 / 社会学 / 教育学 / 心理学 / 代数学、幾何学 / 素粒子、原子核、宇宙物理学 / 社会システム工学、安全工学、防災工学 / 無機・錯体科学、分析化学 / 農芸化学 / 生産環境農学 / 社会経済農学、農業工学 / 個体レベルから集団レベルの生物学と人類学 / 神経科学 / ブレインサイエンス / 社会医学、看護学 / スポーツ科学、体育、健康科学 / 情報科学、情報工学 / 人間情報学 / 応用情報学 / 環境保全対策

※文部科学省「令和2年度科学研究費助成事業の配分について」（令和3年3月31日改訂版）より

※本学が「科研費中区分別採択件数（過去3年間の新規採択の累計数）上位10位内のもの

令和2年度外部資金受入実績

区分	件数	受入金額
科学研究費助成事業（内定額）（代表のみ）	1,514	4,382,509
受託研究（治験含む）	744	5,248,526
共同研究	532	1,724,863
寄附金（学術研究関係）及び研究助成金	773	997,153

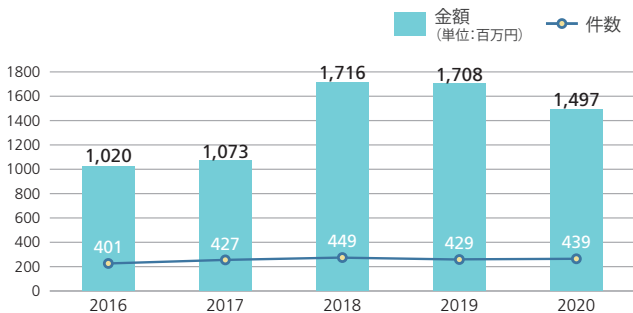
（単位：千円）

令和2年度の代表的な外部資金獲得例

事業名	プロジェクト名	代表研究者
科研費 特別推進研究	分子組織化に立脚した 革新的医薬品の分子設計	数理物質系 長崎 幸夫（教授）
JST 戦略的創造研究 推進事業 CREST	自己組織化トポロジカル 有機マイクロ共振器の開発	数理物質系 山本 洋平（教授）
ムーンショット型 研究開発制度 （目標5）	サイバーフィジカルシステムを 利用した作物強靱化による 食料リスクゼロの実現	生命環境系 大澤 良（教授）
ムーンショット型 研究開発制度 （目標5）	フードロス削減とQoL向上を 同時に実現する革新的な 食ソリューションの開発	生命環境系 中嶋 光敏（特命教授）
ムーンショット型 研究開発制度 （目標7）	睡眠と冬眠： 2つの「眠り」の解明と 操作が拓く新世代医療の展開	国際統合睡眠 医科学研究機構 柳沢 正史（機構長：教授）

10 産学官連携・大学発ベンチャー

筑波大学の国内民間共同研究受入額



開発研究センター

社会還元型の研究を推進し、イノベーション創出を促進するために、外部資金等を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築する組織です。現在11の開発研究センターが国際産学連携本部の下に開設されています。

- ・プレジジョン・メディスン開発研究センター
- ・スポーツイノベーション開発研究センター
- ・未来社会工学開発研究センター
- ・ヘルスサービス開発研究センター
- ・テラーメイド QOL プログラム開発研究センター
- ・働く人への心理支援開発研究センター
- ・イノベティブ計測技術開発研究センター
- ・革新的創薬開発研究センター
- ・デジタルネイチャー開発研究センター
- ・健幸イノベーション開発研究センター
- ・スマートウェルネスシティ政策開発研究センター

筑波大学発のベンチャー企業

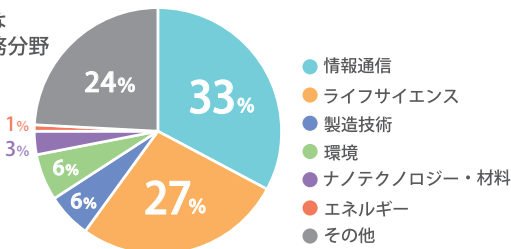


令和3年5月1日

ベンチャー設立累計

161 社

主な
業務分野



筑波大学発ベンチャーの資金調達

卒業生ベンチャー・教員ベンチャーの活躍により、資金調達額は急速に拡大し、2018年度以降で150億円を超える規模になっています。

■ つくば国際戦略総合特区

2011年、つくば市は国際戦略総合特区に指定されました。つくば地域の大学・研究機関の集積を生かし、生活や環境の分野でイノベーションを進め短期間で新産業につなげる計画です。国際戦略総合特区に指定された地域では、国や地方自治体から規制の緩和や、財政、税制の支援を受けながら産業の振興を目指します。

現在9つのプロジェクトが進行中で、本学は8つのプロジェクトに参画しています。

- 次世代がん治療(BNCT)の開発実用化
- 生活支援ロボットの実用化
- 藻類バイオマスエネルギーの実用化
- TIA 世界的イノベーションプラットフォームの形成
- つくば生物医学資源を基盤とする革新的医薬品・医療技術の開発
- 核医学検査薬(テクネチウム製剤)の国際化
- 革新的ロボット医療機器・医療技術の実用化と世界的拠点形成
- 戦略的都市鉱山リサイクルシステムの開発実用化
- 植物機能を活用したヒトの健康増進に資する有用物質生産システムの開発事業化

■ 高大連携

筑波研究学園都市という立地や総合大学という特性を生かし、高大連携活動を支援しています。高校生の人材育成に貢献するために、最前線で活躍する本学教員を派遣する出前授業や大学の授業が体験できる模擬授業等があります。

■ 社会貢献プロジェクト

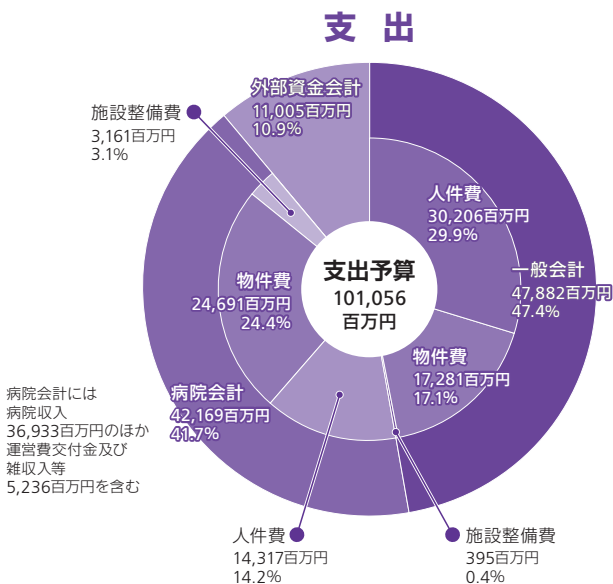
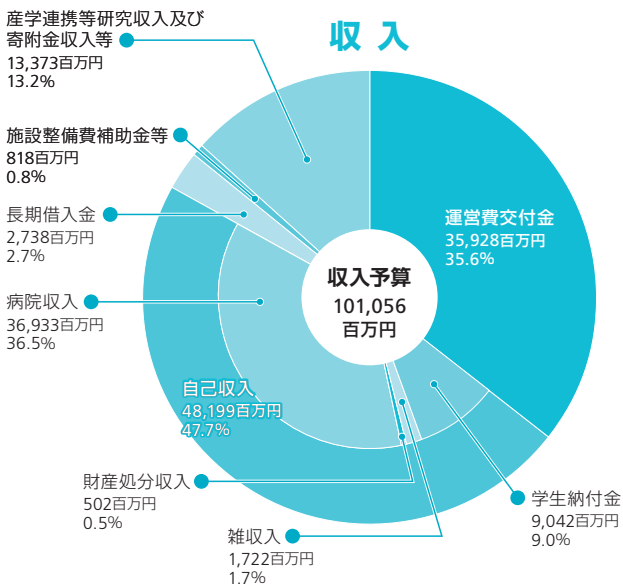
「科学振興(1件)」「国際(2件)」「文化・地域活性化(15件)」「環境(3件)」「健康・医療・福祉(7件)」「防災・震災復興(2件)」等、幅広い学問分野を持つ本学ならではの取り組みを展開しています。

令和3年度社会貢献プロジェクト例

分野	プロジェクト名
環境	カンボジア政府及び自治体の環境教育課職員を対象とする環境教育の実施
国際	筑波大学発 SDGs 活動発信拠点形成とつくば SDGs パートナーズの育成
文化・地域 活性化	博学連携による地域文化財の再生と利活用 一土浦市における重要遺跡の調査とパブリック・アーケオロジーの展開

12 収支予算

令和3年度筑波大学当初予算



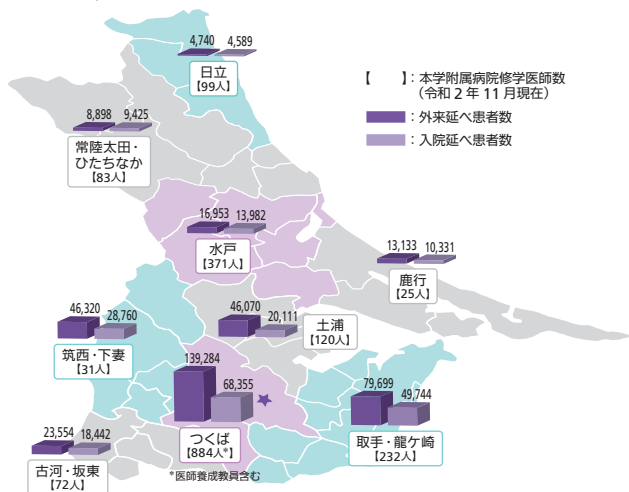
13 附属病院

高度先端医療の提供

県内唯一の特定機能病院(全国87病院)として、陽子線を用いたがん治療、手術支援ロボット(ダヴィンチ)等の最先端機器を用いた手術等の高度先端医療に特化した診療を行っています。地域医療の最後の砦として、高度先端医療を必要とする患者を県内全域から受け入れ、地域医療に貢献しています。

医師の養成による地域医療の充実

医師不足・偏在等による地域医療の崩壊が起こることがないよう、県内唯一の医育養成機関(全国81機関)として、地域医療を担う人材の養成に取り組んでいます。本学医学類卒業生の約半数は県内で勤務し、県内医師数の1/3は本学附属病院修学医師です。



救急患者受入れ実績

県内唯一の高度救命救急センター(全国で45施設)として、県内の救命救急センターでは対応が難しい重篤患者を24時間で受入れて高度な医療を提供するとともに救急医の育成も担い、救急医療体制の強化に取り組んでいます。

	救急患者数	救急車搬送件数	ドクターヘリ搬送件数
平成30年度	9,017	4,035	35
令和元年度	9,179	4,095	51
令和2年度	7,213	3,037	31

14 附属学校

※令和3年5月1日現在

学校名／創立年 (所在地)	特色	児童・生徒数 (教員数)
附属小学校 1873(明治6)年 (東京都)	① 小学校でも教科担任制 (32人クラス編制) ② 学習公開・研究発表会(年2回、延べ 8千人)での研究成果の発信	756人 (教員 37人)
附属中学校 1888(明治21)年 (東京都)	① 「言語活動」「体験学習」を重視した教科 指導 ② 生徒が一から作り上げる学校行事(富 浦臨海学校、発表会)	614人 (教員 30人)
附属高等学校 1888(明治21)年 (東京都)	① レベルの高い教科教育、バランスのと れた教育課程 ② 生徒中心の学校行事・学年行事	736人 (教員 42人)
附属駒場中・高 等学校 1947(昭和22)年 (東京都)	① 唯一の国立中高一貫男子校、SSH校(4 期目) ② 学校行事で創造性とリーダーシップの 育成(音楽祭、体育祭、文化祭、水田稲作)	857人 (教員 45人)
附属坂戸高等学 校 1946(昭和21)年 (埼玉県)	① 総合学科高校のパイオニア(H6～)、 ユネスコスクール加盟、国際バカロレ ア(IB)認定校、WWL(ワールド・ワイ ド・ラーニング)拠点校 ② 生徒自らが科目を選択したオリジナル 時間割、1年生全員が菜園体験	470人 (教員 47人)
附属視覚特別支 援学校 1876(明治9)年 (東京都)	① 唯一の国立視覚特別支援学校 ② 乳幼児期から職業課程まで世界の教 育者が集う学びの場	170人 (教員 106人)
附属聴覚特別支 援学校 1876(明治9)年 (千葉県)	① 唯一の国立聴覚特別支援学校 ② 確かな日本語の獲得、ICTや自作の教 材教具の活用	219人 (教員 95人)
附属大塚特別支 援学校 1908(明治41)年 (東京都)	① 知的障害教育における先導的教育研究 ② 「学習内容表」と「教育課程(幼小・中・ 高)」を作成し全国に発信	72人 (教員36人)
附属桐が丘特別 支援学校 1958(昭和33)年 (東京都)	① 肢体不自由教育における先導的教育 研究 ② 個別の指導計画と自立活動の指導、 ICTや自作の教材教具の活用	127人 (教員67人)
附属久里浜特別 支援学校 1973(昭和48)年 (神奈川県)	① 知的障害を伴う自閉症児に関する先導 的教育研究 ② 自閉症教育実践研究協議会の開催	51人 (教員39人)

附属学校教育局は、附属学校(11校)の運営に関する校務について統括及び調整を行います。

15 附属図書館

利用者数 (令和2年度実績)

入館者総数	257,478 人
	1,047 人/日
貸出利用者数	59,745 人
	243 人/日
貸出冊数	185,596 冊
	754 冊/日

蔵書数 (令和3年3月31日現在)

図書	和書	1,676,474 冊
	洋書	1,050,669 冊
	電子ブック	40,492 タイトル
雑誌	和雑誌	17,790 タイトル
	洋雑誌	12,969 タイトル
	電子ジャーナル	37,024 タイトル



開館状況

筑波キャンパス		学期中	休業中
● 中央図書館	月～金	8:30～24:00	9:00～20:00
	土・日・祝	9:00～20:00	9:00～18:00
● 体育・芸術図書館 ● 図書館情報学図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～17:00
	土・日・祝	10:00～18:00	休館
● 医学図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～20:00 ※
	土・日・祝	9:00～22:00	

※ 2月と9月は学期中と同じ時間です。

東京キャンパス	月	火～金	土	日	祝
● 大塚図書館	10:30～18:30	10:00～21:10	10:00～19:50	10:00～18:00	休館

臨時休館・開館時間の変更等はその都度、図書館 web サイト等でお知らせいたします。
(新型コロナウイルス感染症対策のため、開館時間の変更があります。)

16 施設配置図

筑波キャンパスは、南北に約5キロ、東西に約1キロに及ぶ約257ヘクタールの敷地を有しています。また、東京キャンパス文京校舎には、附属学校教育局と社会人対象の大学院等を設置しています。

アクセス

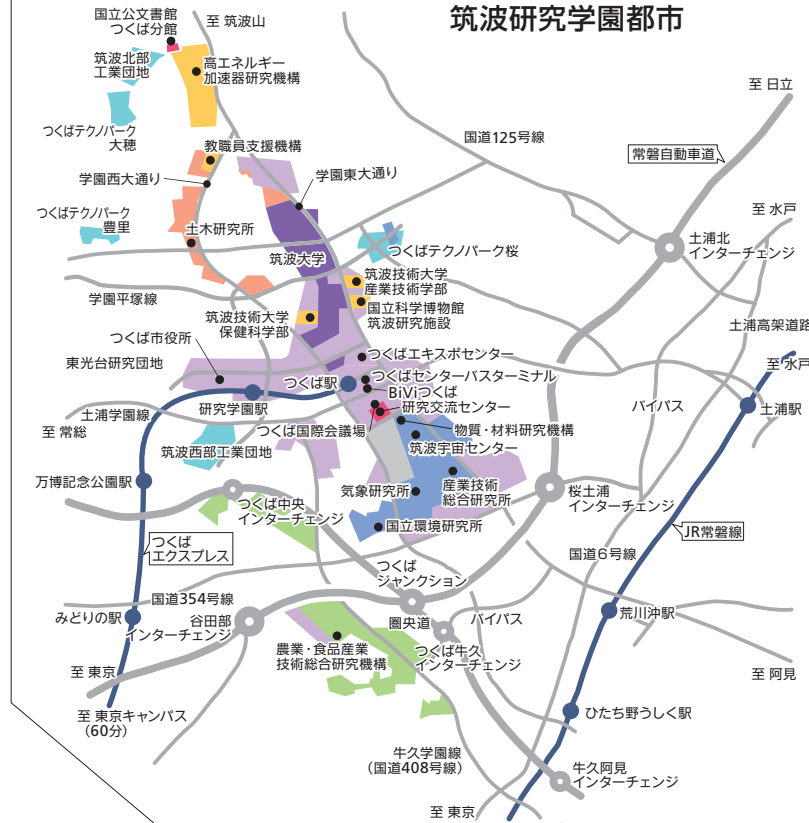


筑波キャンパス

エリア名	施設名称
東エリア	1 厩舎・第2厩舎
農林技術(農場)	2 つくば機能植物イノベーション研究センター(農場)
一の矢宿舎	3 一の矢学生宿舎
エリア	4 一の矢生活センター
実験センター	5 アウトドア環境動態研究センター(環境動態予測部門)
エリア	6 生存ダイナミクス研究センター
	7 産学リエゾン共同研究センター
	8 バイオ・マテリアル植物生産研究棟
	9 プラズマ研究センター
	10 藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター
	11 エンパワースタジオ
	12 研究基盤総合センター(工作部門)
	13 研究基盤総合センター(低温部門)
	14 研究基盤総合センター(応用加速器部門)
	15 共同研究棟C
	16 研究基盤総合センター(分析部門)
	17 プロジェクト研究棟
	18 アウトドア環境動態研究センター(放射線研究部門)
	19 筑波大学アーカイブズ、中央機械室
第三エリア	20 第3体育館
	21 3A~3D・G, 3K, 3L棟/システム情報エリア支援室
	22 工学系学系棟
	23 理科系棟
	24 共同研究棟D
	25 総合研究棟B
	26 サイバニクス研究棟
第二エリア	27 つくば機能植物イノベーション研究センター(遺伝子実験センター)
	28 生物・農林学系棟
	29 第1体育館
	30 総合研究棟A
	31 2A~2E, 2G, 2H棟/生命環境エリア支援室、人間エリア支援室
	32 文科系修士棟
	33 人間学系棟
	34 環境防災研究棟/山岳科学センター
第一エリア	35 中央図書館
	36 人文社会学系棟
	37 共同利用棟A
	38 共同研究棟A
	39 共同利用棟D
	40 1D~1G棟/スチューデントプラザ
	41 1A~1C, 1H棟/人文社会エリア支援室、数理物質エリア支援室、スチューデントコモンズ、総合学域アカデミックサポートセンター
	42 文化系サークル館
	43 自然学系棟
	44 計算科学研究センター
エリア名	施設名称
本部棟	45 本部棟、本部アネックス棟
エリア	
大学会館	46 講堂
エリア	47 大学会館、筑波大学ギャラリー、筑波大学アートスペース
	48 総合交流会館
	49 大学会館宿泊施設
	50 学術情報メディアセンター
	51 グローバルコミュニケーション教育センター
	52 保健管理センター
	53 国際講義棟
体育・芸術	54 芸術学系棟
エリア	55 5C棟/体育芸術エリア支援室
	56 共同研究棟B
	57 体育科学系棟
	58 体育総合実験棟
	59 6A, 6B棟
	60 芸術学系工房棟
	61 アート&デザイン実習室
	62 体育・芸術図書館
	63 中央体育館
	64 T-Dome
	65 スポーツ流体工学実験棟
	66 体芸食堂
	67 グローバルスポーツイノベーション棟
	68 体育センター、体育系サークル館
	69 屋内プール
	70 武道館
	71 球技体育館
	72 開学記念館
	73 総合研究棟D
体育施設	74 弓道場
エリア	75 体育合宿所
	76 クラブハウス
	77 課外活動練習施設

その他の施設

埼玉県	戸田艇庫・合宿所
千葉県	館山研修所
山梨県	山中共同研修所
長野県	八ヶ岳演習林
	菅平高原実験所
静岡県	井川演習林
	下田臨海実験センター

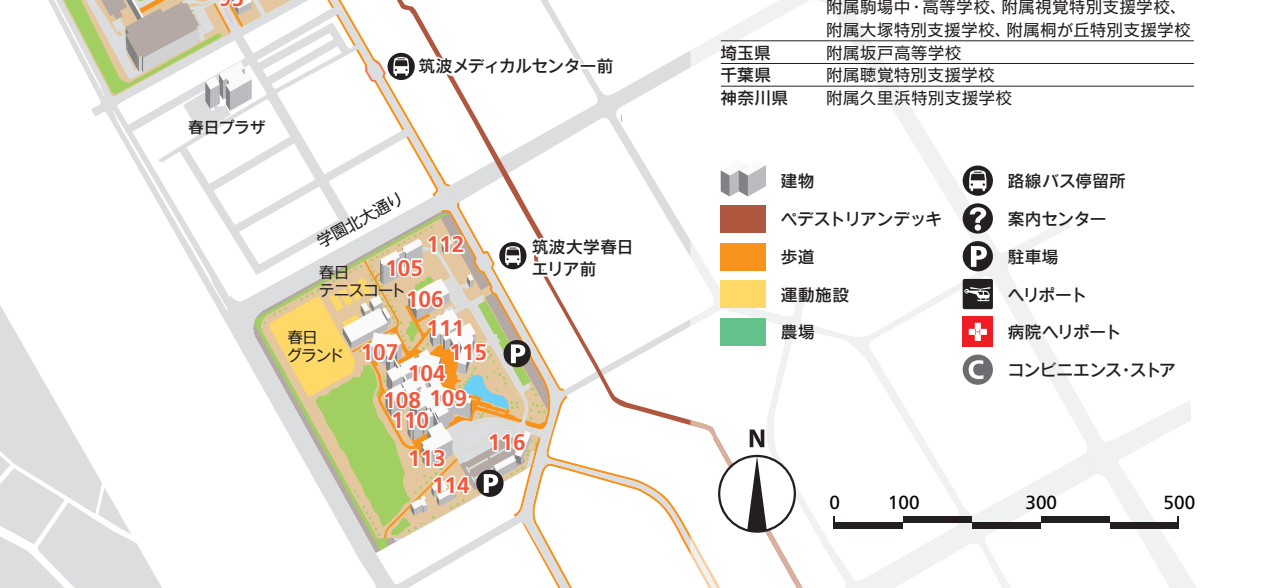


エリア名	施設名称
医学エリア	78 医学地区中央機械室
	79 睡眠医学研究棟
	80 4B棟、4C棟、4D棟
	81 生命科学動物資源センター
	82 4E棟
	83 共同利用棟B
	84 医学系RI研究棟
	85 医学系学系棟
	86 附属病院
	87 4A棟/医学医療エリア支援室
	88 医科学棟
	89 医学図書館、臨床講義室
	90 医学食堂
	91 第2体育館
	92 陽子線医学利用研究センター
	93 健康医科学イノベーション棟
	94 つくば臨床検査教育・研究センター
	95 次世代分子イメージングAIC画像検査センター
	96 G棟
平砂宿舎	97 平砂生活センター
エリア	98 平砂学生宿舎
	99 グローバルワイレッジ
	100 レジデント宿泊施設
追越宿舎	101 追越生活センター、ゆりのき保育所
エリア	102 追越学生宿舎
	103 外国人教師等宿泊施設
春日エリア	104 7A棟
	105 春日学生宿舎 春日1号棟、春日2号棟
	106 高細精医療イノベーション棟
	107 春日講堂
	108 7B棟、7C棟/図書館情報エリア支援室
	109 図書館情報学図書館
	110 7D棟
	111 第4体育館
	112 春日弓道場
	113 情報メディアユニオン
	114 春日学生宿舎 春日3号棟
	115 春日福利厚生棟
	116 グローバルゲストハウス

東京キャンパス

施設名称	
文京校舎	
117 大塚図書館	
社会人大学院等支援室	
大学研究センター	
附属学校教育局	
東京キャンパス事務局	
理療科教員養成施設	
広報室東京分室	
附属学校	
東京都	
附属小学校、附属中学校、附属高等学校、附属駒場中・高等学校、附属視覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校	
埼玉県	附属坂戸高等学校
千葉県	附属聴覚特別支援学校
神奈川県	附属久里浜特別支援学校

東京キャンパス



IMAGINE THE FUTURE.



筑波大学
University of Tsukuba

地図とデータで見る
筑波大学リーフレット

令和3年度

編集・発行 筑波大学広報室

住所 茨城県つくば市天王台1-1-1
〒305-8577



www.tsukuba.ac.jp